

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	鹿島市役所	代表者名	松尾 勝利
担当者部署	総務部DX推進室	連絡先電話番号	0954-68-0140
担当者役職	一般職員	担当者氏名	一ノ瀬 慶太
住所	849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	午前中の「事前打合せと意見交換」では、当市のDX戦略を効果的に進めていくための担当課としてのポイントや庁内各課を巻き込んだ推進方法など、他市の事例も踏まえながらご教示いただき、大変参考となった。 午後の研修では、役職向けに「役職が中心となってやるべきことであり、意識を変えないといけない」ということを理論的に講義いただき、役職職員の意識づけに繋がったのではないかと感じた。また、全体をととして「限られたリソースの中で小さな取組、各自ができる取組を行っていくこと」など、DX戦略アクションプランを各課で取り組んでいく上で大変参考となり、庁内の意識醸成・認識共有に繋がったのではないかと感じた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年7月31日	講演(実地)	有	令和5年6月12日	698
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月18日	講演（実地）	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
3-2. 派遣場所	会場名	鹿島市役所5階大会議室	最寄駅	肥前鹿島駅	
	所在地	佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	---	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	114人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・DX戦略は策定したが、庁内で取り組む必要性等の基礎的な知識がまだまだ根付いておらず、職員のDXに対する意識が浸透していない。 ・デジタル技術により、市民サービス向上や業務効率化が図られることの認識、それらの活用方法や取り入れ方についても深堀することができる職員の育成（DXマインドの醸成）ができていない。 ・DX戦略を推進するうえで、効果的な展開方法の専門的な意見を聞くことができていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・全庁的な意識醸成、認識の共有がまだまだ図られていないので、DX戦略を意識させた上で、より職員の共感を生むような職員目線での効果的な研修を行い、意識醸成に繋げる。 ・これからの当市のDX戦略を推進するうえでの効果的な展開方法について、アドバイスを受け、今後の担当課としての進め方の参考にしたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・生成AIとは何なのか、どういうことができるのか、生成AIは正解を出すものではなく確立で意見を出すものであり、「決める」ことは職員が行うことが大切。 ・正解のない時代の勝ち方は、合意した「ビジョン（何のためにするのか）」に基づいて、数多くの取組を行う。だめならすぐに方向転換することが重要。 ・リソースは限られているので、各自自分ができる取組は何なのかを考え、スモールスタートで小さく取り組む。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員目線の効果的な内容の研修を行うことができ、意識醸成・認識共有に繋がったのではと感じた。</li> <li>・今後、担当課として、DX戦略を推進するうえでの効果的な展開方法、各課との進め方、全庁的な巻き込み方などについても助言いただき、DXを進めていく上で、大変参考になった。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	DX戦略及びアクションプランについて、DX推進室だけでなく、全庁的に各課各分野で取り組み、戦略的に推進していく。また、あわせて各職員の意識レベルの向上に繋げる。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

